

このアンケートは中止すべきです 進め方があまりにも乱暴です！

村民の皆さん、広域連合が18日に白馬村民向けに「ごみ処理施設建設に関する住民アンケート調査の設問に対するご意見を募集します」との文書を役場に置くなどの方法で示して、意見を求めたことをご存知でしょうか？ しかも締め切りは24日だというのです。

あまりにも強引なこうした進め方は、連合が「本気で白馬村民の意思を把握する気があるのか」疑わしくなります。

私たちは、理不尽とも言えるこれら一連の動きに対して本質を見つめ直してもらうために、22日に広域連合に意見と公開質問を届けました。その要旨を以下にお伝えし、皆さんに「アンケートの強行には本当に理があるのか？」を、じっくりお考えいただければと願っています。

住民アンケートに関する意見と公開質問 ～前提条件が満たされないアンケートは中止すべきです～

● 私たちの基本姿勢

私たちは、以下の7点は民意を問うにあたっての本質的問題であり、その解決は「飯森建設の可否」を白馬住民に問う住民アンケートの前提条件と考えます。「少なくとも問題点が解決するまでアンケートの実施は凍結すべき」であり、「前提条件が満たされないアンケートは中止すべき」と考えます。

1 賛成・反対の意見を集めた 「村民説明会」を！

事前に「十分な説明が尽くされる」ことは必須要件です。広域連合の認識は実態と大きくかけ離れています。

2 なぜ「住民投票」ではなく 「アンケート」なのか！

アンケート調査は客観性を担保できないとの理由をあげて、私たちはアンケートに一貫して反対してきました。なぜアンケートにしたのかを住民に説明すべきです。

3 広域連合は正義に 基づく行動を！

広域連合が進めることの全てが正義（公平・公正）とは限りません。副連合長でもある小谷村・小林村長のとった態度について、明快な所見を示すべきです。

4 住民の疑問には 誠実な回答を！

2巡目の説明会終了後に出された、「名鉄の会」の公開質問状にまだ回答がありません。アンケートを云々する前に、住民の疑問にきちんと答えることは、行政の最低限の責任です。

5 まず「実施要綱」の 全戸配布を！

意見募集という、この重要な問いかけをなぜ全村に広く広報しないのか、その真意は測りかねます。アンケートの設問案を含む「実施要綱」を、全戸に届け、積極的な“情報公開”に努めるべきです。

6 周知徹底したあと 再度パブリックコメントを！

基本計画の時は約1ヶ月の期間だったものが、今回は1週間と異常に短いのは大問題です。しかも、その一週間のうち平日は4日。これではいかにもおざなりです。

7 まず別立てで、周辺住民の民意把握を！！

連合長や村長は、今まで何度も「周辺住民の同意を得てから進める」と発言していましたが、現在まで、どこの地区から同意を得られたのかが不明のままです。一番近い名鉄地域、お膝元の飯森区、周辺・近隣区から同意を得ているのでしょうか？ まず、別立てで周辺住民の意向の把握に努め、その結果を明示して全村的なアンケートに進むのが望ましい手順です。

**皆さん、連合の進め方は どう考えても拙速で ずさん です。
改めて申し上げます。このアンケートは 中止すべき です。**

ふるさとの自然を大切に思う、そうした善い心がけから出発したい！

住職は当初から、「候補地：飯森は景観や環境、更には観光という観点からもとても大切な場所であり、ぜひ保全を図りたい」と主張していましたね。

白馬の自然と景観は、若い頃出先から帰った時もそうでしたが、今でも私にとっては大切な楽しみでありエネルギーの源です。(広報部：ご自身で撮影されたという素敵な写真があちこちに飾られていました。)

飯森は白馬村の中心部だけに、ここにごみ処理施設を造ることは、玄関先にお手洗いを造る様なものです。この秋、八方からの眺望を楽しみましたが、候補地の場所是否応なく目に入る場所で、観光で白馬を訪れる人も、決して良い印象を持つとは思えません。私は白紙撤回して出直すのが一番良いと今でも思っていますよ。

太田村長が「住民投票」ではなく、「アンケート」で民意を問うと発表しましたが、今のお気持ちは？

縁故やしがらみに左右されることのない住民投票こそ、村民一人一人が責任ある態度を示すことの出来る最も良い方法だと思うだけに、村長の判断は大変残念です。

「住民の疑問には説明を尽くした」との村長の認識について、どうお考えですか？

候補地決定は出だしから決めてかかっているだけに、「住民の理解を得なければ先には進めない」は建前で、単なる通過点としか捉えていないようです。住民あってこそその村ですから、これでは主客転倒です。2巡にわたる説明会をやったとか、議会関係者が後押しして「よく理解できた」などと言わせている状況を根拠に、「説明は尽くされた」と言うのは余りにも強引ですね。

村民の中には今の状況をまったく知らない人も多く、少なくとも、村民大会のような場を設けて、意見交換会くらいは実現したいものです。「村の将来を考える」目的であれば、堂々と議論することは少しも恥ずかしいことではありません。

「手順を踏んで選定した最もふさわしい場所」との広域連合の説明や、推進団体の宣伝について、率直に思うことは？

「広域で決めたから返上できない」とするのも、「返上したら、白馬にはごみ施設はなくなる」と断定するのも、おかしい話ですね。

ごみ連協の「いまある施設を使い続け、その間に減量化をはかろう！」との提案について、どう思いますか？

今の八方の場所は村内屈指の景観スポットに隣接しているだけに、いつまでも残すことには問題を感じますが、住民を交えてもっと時間をかけてより良い解決策をさぐるためには現実的提案だと思います。

今後の「住民アンケート」に際して、村民の皆様へ訴えたいことは？

「まとまるものがまとまらなくなる」などとの言葉や、行政や議員の多くが強引に民意を誘導しようとしていることや、目先の経済効果に目がくらんでいることにもっと“怒り”を表して欲しいですね。よそ者や共産党の人だけが反対している—といった中傷・デマは話になりません。見慣れてきた自然の美しさを再発見して、しがらみに縛られることなく、しっかり判断して欲しい。“村の将来に責任を持つ”ということは、そうすることだと思います。

最後に、この村の「村づくり」に、一番大切なことは何でしょうか？

実直で勤勉な村民気質は好きですが、他を受け入れない閉鎖的な体質改善やお客様への意識改革などは課題です。白馬の自然に魅せられて移住してくる人達がいること、白馬が好きで四季折々に訪れてくれる人がいることに感謝し、お客さまにはハゼ干しの美味しいお米を食べてもらいたいと思うような、そんな気持ちが一番大切ではないでしょうか。

お話の中で、森住職は曹洞宗開祖：道元の和歌を教えてくださいました。下の句を「我がふるさとの声と姿と」としたら、今回の問題も何が一番大切なのか解るでしょう？とおっしゃいました。確かにそうですね！

「峯(みね)の色溪(たに)の響もみなながら我が釈迦牟尼(しやかむに)の声と姿と」

通釈：峰の色、谷川の響き、...そうしたものすべてが、私にとっての釈尊のお声でありお姿であるのだ。

お忙しい中、ご協力いただきありがとうございます！

皆さんの「声」をお聞かせ下さいネ！
Fax: 0261-72-7937
e-mail: info@hakuba-kaeru.com



アンケート判定基準はご心配ありません。アンケート「参考」までに聞くだけです。(連合長)

川柳や掲載文章募集中！

あなたのお気持ちをお聞かせ下さい。

エンタツの残る白馬や降らぬ雪...ふんふん減らなうCO2で、ふんふん雪も降らなくなったらしい(白馬のひま)

近隣の意見無視してごり押し...当事者とじっくり対話の勇氣を持てい(地区住人)

